稲敷市多言語翻訳・文字表示システム 導入・保守業務
仕様書

1. 事業概要

(1) 業務名

稲敷市多言語翻訳・文字表示システム 導入・保守業務

(2) 目的

稲敷市の窓口業務において、耳の不自由な方や、外国籍の方等が市の窓口を利用する際に、障がいや言語の違い等から会話や意思疎通が困難な状況がある。この状況の解決策として、キーボード入力した言葉や翻訳された会話を、窓口の卓上に設置する文字表示ディスプレイ等に表示することで、丁寧かつスムーズな対応を可能とし、耳の不自由な方や外国籍の方等に対する市民サービスの向上を図ることを目的とする。

(3) 履行期間

契約締結日の翌日から令和8年3月31日まで

- ・導入業務：契約締結の翌日から令和7年9月30日まで
- ・保守業務：令和7年10月1日から令和8年3月31日まで

(4) 履行場所

稲敷市役所本庁舎内（3か所）

〒300-0595 茨城県稲敷市犬塚 1570 番地 1

(5) 委託上限額（提案上限価格）

1,918,950 円（消費税及び地方消費税込）

内訳

- ・導入経費 1,390,950 円
- ・運用・保守経費 528,000 円（6か月分）

※10月実装予定のため、令和7年度は6か月分の保守

2. 導入業務内容

本業務の目的に鑑み、本システムの運用に必要なハードウェア・ソフトウェア製品（多言語翻訳システムおよび窓口の卓上に設置する文字表示システム等）

を調達し、設置を行うこと。

(1) 調達数・設置場所

3セット ※本仕様書「2. 導入業務内容」の各項目に適合すること。

- ・本庁舎1階 総合案内
- ・本庁舎1階 市民窓口課
- ・本庁舎1階 保健福祉部の窓口

(2) システム構成・機器要件

翻訳システムと表示システムの構成とし、「2 (3) 機能要件」を満たし、「1 (2)」の目的が達成しうるシステム構成であること。

【表示システム機器】

例1：透明ディスプレイタイプ。

翻訳システムを通して翻訳された会話が透明ディスプレイに表示され、双方向から文字が認識できる構成。

透明ディスプレイサイズ：W90cm×H65cm×D15cm 以内。(ディスプレイを設置するための脚等を含む。また、機器の移動ができること。)

例2：プロジェクタータイプ。

翻訳システムを通して翻訳された会話がプロジェクターで透明スクリーンに投影され、双方向から文字が認識できる構成。

プロジェクターサイズ：W20cm×H50cm×D20cm 以内。(脚等を含む。また、機器の移動ができること。)

※投影するスクリーンについては市で準備する。ただし、市で準備するスクリーンは透明アクリル板(約 W90cm×H61cm×D10cm。脚等を含む)であり、透明アクリル板でも投影できるようなフィルムを準備すること。

【翻訳システム】

・設置は3箇所とするが、3箇所同時に利用可能なシステム・ライセンスとすること。

・翻訳アプリをタブレット(PCは不可)にインストールして使用する構成の場合、タブレットは市で準備する。また、想定機種で稼働可能なこと。

(想定機種 iPad Air モデル番号 A2123)

【付帯機器】

以下の機器についても、3セット分を本業務の導入経費に含めること。

- ・各機器の接続に必要なケーブル、電源コード一式

- ・マイクは職員側、来庁者側にそれぞれ設置すること。（自立式でない場合はマイクスタンドも含めること）
- ・キーボード（タブレットを使用する構成の場合、タブレットのキーボードでも可とする）
- ・その他、稼働のために必要な機器一式

（3）機能要件

- ・話者の立ち位置と反対側のディスプレイ（またはスクリーン）の表示面に話者の翻訳内容がリアルタイムで表示できるものであること。また、ディスプレイ（またはスクリーン）は透明であること。
- ・キーボード入力した文字も表示できること。
- ・ディスプレイ（またはスクリーン）に表示される文字のサイズが変更可能なこと。
- ・プロジェクタータイプの場合は、フォーカス調整、台形補正機能を有すること。
- ・翻訳に対応する言語は、英語、ベトナム語、タガログ語、中国語、タイ語、シンハラ語、インドネシア語、韓国語、ポルトガル語、ベンガル語、ヒンディー語は必須とすること。また、日本語→外国語、外国語→日本語の翻訳が可能であること。
- ・ディスプレイにサイネージ機能を有し、カラー対応とすること。
- ・対応記録（ログ）を保存する機能がある場合は、オフの設定が可能なこと。
- ・市が用意する Wi-Fi 上で稼働すること。

（4）セキュリティ要件

翻訳システムで対応記録や情報を取得する場合は、機密性、完全性及び可用性を維持するために必要なセキュリティ対策を講じること。

（5）その他

- ・導入時に職員向けの操作研修を同内容で2回実施すること。日時については、協議の上決定すること。また、研修にかかる経費については、本業務の導入業務経費に含まれること。
- ・機器の設置等、導入時にかかる経費についても本業務の導入業務経費に含まれること。設置日時、設置箇所の詳細については、協議の上決定すること。

3. 運用・保守業務内容

が一事故が発生した場合には、生じた事故に対して一切の責任を負うものとし、事故状況等を速やかに市に報告し、最善の処置を行わなければならない。

- ・業務完了後に、受託者の責に帰すべき事由による成果品の不良個所があった場合は、受託者が速やかに必要な訂正、補足等の措置を行うものとし、これにかかる費用は受託者が負担するものとする。

- ・受託者は、当該業務の実施にあたっては、業務上知り得た個人情報に漏らしてはならない。また、業務終了後においても同様とする。

- ・本仕様書に明記されていない事項又は、疑義が生じた場合は、受託者は市と協議の上、その指示に従うものとする。